

あって良かった！災害時に役立つ代表的なキャンプ用品

コロナ禍の中、密を回避できる趣味としてキャンプが流行しています。そこで今回は、災害時に「あってよかった」と思える、キャンプ用品をいくつか紹介します。

①ランタン

明るく長持ちするという点で、災害時に使い勝手が良いのはやはりLEDライトです。電池さえ備えておけば、特別な燃料も必要ありません。懐中電灯とランタンの機能を併せ持つものや、両手を使えるヘッドランプなどが便利です。また、太陽光発電ができるタイプもおすすめです。燃料不要の使いやすいアイテムこそ、災害時に打って付けです。

②バーナー

救援物資の食糧の中には、お湯を使うものや、温めが必要なものが多くあります。アウトドア用品でもおなじみガス缶燃料の簡易的なバーナーは、火力も強く、ちょっとした調理も可能となります。カセットコンロも大変役に立ちます。

③クーラーボックス

救援物資や食糧をストックしておくのに役立つ、クーラーボックス。断水で水が使えなくなったときに、冷凍庫の氷をクーラーボックスに移して給水タンクとして使うこともできます。停電時に冷蔵庫に入っていた食料を移すことで、保存期間を長くすることができます。

④寝袋・マット

気が張る避難生活は、しっかり睡眠が取れないと辛いもの。集団で利用する避難所では布団が足りないケースも想定されるので、寝袋がとても役立ちます。すっぽり包まれて安心感のあるマミー型や、子供との添い寝に便利な広めの封筒型など、状況に応じたものを用意しておくで安心です。



外で衣食住を楽しむ、アウトドアの知識と経験は、趣味としてだけではなく、緊急時にも役立ちます。緊急時の備えという観点からも、キャンプ用品を見直してみましょう！

問 市・危機対策室 ☎ 56-5005

防災通知機能付
ラジオアプリ

一般社団法人日本コミュニティ放送協会 (JCBA) 公認
Radimo (レディモ)

課金無しで全ての
機能が使えます!
ダウンロード
無料

スマホからエフエムもえるが聴ける!

FM
周波数 76.9
MHz



ラジオがなくても聴ける!
スマホからワンタッチで操作も簡単!



地震、津波、風水害...留萌地域の
防災・緊急情報も受け取れる!

www.moeru.fm

24時間、365日放送中! なお、一部インターネットで放送されない番組もありますのでご了承ください。詳しくはエフエムもえるへ! 電話 0164-42-3871